

Saying the Same Thing in Different Ways

【主旨・内容】 同じことを異なる表現の仕方をする、日本語と英語の表現構造の違いから考える文化の違い

P.7

Vocabulary Check

- ① c. ② a. ③ b. ④ b. ⑤ b.

P.8

言語は、語彙と文法だけでなくそれを母国語とする者が重要であるとする情報の種類においても異なります。

ジョン・ハインズによれば、英語を母国語とするものと日本語を母国語とする者は、聞き手が完全に意味を理解することを確かめるために、含まなければならないものについて、異なる考えを持っているということです。

最近、私は日本人の友人とロサンゼルスから東京まで飛行機に乗りました。フライト・アテンダントが私達のそれぞれに質問をするとき、日本語から英語に如何にたやすく切り替えていたかを見るのは興味深いことでした。

彼女が友人に「お茶はいかがですか?」と言って、それから私に、“Would you like some tea?”と言ったものでした。

まだ飛行機に、フライト・アテンダントは私たちが記入しなければならない用紙を配りました。東京に近づいた時、彼女は私たちが用紙にもう記入したかどうかを確かめるためにやってきました。

彼女は、私に言いました、“Have you filled out the form yet?” 友人には「よろしいですか?」と言いました。

これらの表現の違いは多くの点で興味深いものですが、最も明白なことは、日本人が全く明白に言わないと言うことです。

しかしながら、実際に伝えられた意味の点から見れば、日本語の表現は英語と同じくらい意味を伝えています。

同様の例を思いつきました。あなたがアメリカでディナーパーティーに出席すれば、ホストやホステスに感謝する必要があります。

【WORDS】

★differ	〔動〕異なる
vocabulary	〔名〕語彙
grammar	〔名〕文法
according	〔形〕一致した
flight	〔名〕飛行機
attendant	〔名〕案内係
★expression	〔名〕表現
★obvious	〔形〕明白な
overtly	〔副〕明白に
★convey	〔動〕伝える
expressive	〔形〕表現した
★attend	〔動〕出席する
★necessary	〔形〕必要な

★印は、入試頻出重要単語

P.9

8人のゲストがいれば、彼らの各々は普通次のようなことを言います：

「おお、全ておいしかった」
「ええ、私は特にスープが気に入りました」
「うーん、私は野菜が素晴らしかったと思います」
「おお、私はこんなに美味しいジャガイモを食べたことはありません」
「それに、魚もすばらしかった」
「どこでワインを買われましたか？おいしかった」
「僕自分でケーキを作られたのですか。本当においしかった」
「このコーヒーは申し分ないですな」

今までにどんな 8 人の客も正確にこれらの言葉を、まさしくこの順番で言ったということはありませんが、私が言いたいのは、人が誰かに英語で夕食の例をする場合、各人が人とは違ったことを見つけて言うことが重要であるということです。

私が日本で最初に大規模な夕食に参加した時、私は人々の食事に対する喜びの示し方にショックを受けたことを覚えています。私が「刺身は本当においしかった」の言い方を思いつくのには忙しくしている間に、他の人たちが話し始めました。

【WORDS】

guest	[名]招待客
vegetable	[名]野菜
potato	[名]じゃがいも
wine	[名]ワイン
coffee	[名]コーヒー
★unlikely	[形]ありそうにない
★unique	[形]他とは異なる
★express	[動]表現する
★delight	[名]喜び
★meal	[名]食事

P.10

「ごちそうさま」と最初の人がありました。

「ごちそうさま」と2番目の人が言って、3番目の人も、そしてすぐに私の番になりました。私も「ごちそうさま」と言いましたが、私は言い足りないと感じました。

同様の状況が、店での応対でもまた生じます。

あなたが店で店員にサービスを求める場合、ただ「お願いします」と言うだけで普通は十分です。

もちろん、店員にフィルムを渡すときに、「このフィルムを現像して下さい」と言うことも可能です。

銀行員にお金を渡すときに「このお金を私の口座に入れて下さい」ということは可能です。

しかしほとんどの場合、「お願いします」としか言いません。